

授業科目

臨床実習II

担当教員名 山岸 達弥 他	対象学年	3	対象学科	言語
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	3	時間数	135

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

授業の概要

実習開始に先立ち、実習および見学した事柄の要点を把握して要領よく記録するために必要な文書の書き方を学ぶ。実習指導者のもとで、少なくとも1例については実際に対象者に関わって症例報告ができるようにする。実習終了後に大学内においてセミナーをもち、一定書式に基づく症例報告書を作成した上で発表して、各自が実習で得た経験を学問的な体系の中で理解できるようになる。

授業の目的

1、2年次および3年次前期の専門基礎科目で学修した基礎的知識(基礎医学、臨床医学、言語聴覚障害学、心理学、言語学)を用いて、各種障害の診断、治療指導計画の立案と実施について実際の症例を通じて学修する。さらに、対象者と家族への関わり方と施設内他部門との連携を学ぶ。

学習目標

- 1.言語聴覚士と対象者および家族との関わりについて見学し、考察を深める。
- 2.言語聴覚障害の評価・診断を行い、結果を報告できるようにする。
- 3.診断に基づいた、治療・指導計画の立案について学ぶ。

授業計画

授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考
オリエンテーション：実習生としての心得・基礎知識	学内セミナー
事前学習・演習：評価・診断・訓練計画作成と報告の仕方	演習
病院および施設での学外実習（インテーク、スクリーニング、検査評価、報告書作成、訓練計画立案、実習日誌の作成、症例報告書作成）。	学外配属実習
病院や施設の特徴および症例についてのまとめ	演習
症例報告	学内セミナーでの発表

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料						

評価方法

実習態度、実習内容、実習記録、症例報告書をもとに評価する。

履修上の留意点

- ・3年前期までの単位取得状況によっては履修登録を受け付けない。
- ・実習日程、配属施設等は実習先と相談の上、後日決定する。

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー：12:00～13:00

連絡先：yamagisi@nuhw.a.jp